

令和6年度
専門学校仙台総合医療大学校
自己評価報告書

令和7年6月26日（木）

専門学校仙台総合医療大学校

職業実践専門課程

学校関係者評価委員会

令和6年度 項目別の自己評価表 [専門学校仙台総合医療大学校] R7.4.1 現在

【教育目標】

専門学校仙台総合医療大学校は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、保育士を養成し、社会および地域社会に貢献できる高度な専門職の育成を目指します。学生には、専門知識と技能の習得にとどまらず、心に寄り添った支援ができる高い人間性と倫理観を培います。また、医療専門課程においてはチーム医療の重要性を深く理解し、多職種との連携を通じて、質の高い医療を実現する能力を養成します。

【事業方針】

令和6年度開設17年を迎え、校名を専門学校仙台総合医療大学校とし、施設充実度に加え教育力を更に推進させるべく以下の内容を事業方針として学校運営に邁進してまいります。

- ①令和6年4月1日から校名を専門学校仙台総合医療大学校に改称し、言語聴覚科を新設することで更なる医療系の養成校としてその働きを強めていきます。併せて地域の方々への講座の開催を実現してまいります。
- ②本校では、設置する5学科すべてが国家資格取得を目標に学修に励んでおり、人間教育と並行し学園のキャリアカレッジ構想に即した人材の養成に今年度も取り組んでいきます。
また、今年度も除退学率が5%以内におさまられる様日常の学生対応に取り組めます。
- ③財政運営の基盤ともなる学生募集に入学相談課のサポートを得ながらスタッフ全員でかかわっていき、HPの更新作業等、入学対象者に学校の積極的なアピールをしていきます。
- ④開設17年目を迎える総合医療大学校の教育機材の見直しを昨年度からの継続事項として実施してまいります。(パソコンの入れ替え パソコン実習室)

[令和6年度自己評価]

1. 対象期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

2. 評価方法

令和7年3月に、学科ごとの評価及び意見を出し、学科長会議で検討し、学校全体の自己評価表として提出する。

3. 評価

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
学校における職業教育の特色は何か	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生保護者等に周知されているか	4

各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
--	---

【取り組みと課題および改善方策】

学校名を「専門学校仙台総合医療大学校」とし医療分野に特化した学校運営・学生募集を始めた。多職種連携やチーム医療についての理解を深め、カリキュラムや、行事等にも反映させた。またHP上にも掲載し、学校における職業教育について発信を行った。

今後はさらに多職種連携・チーム医療を意識した教育内容を充実し、社会に貢献できるような知識と技術および対応力を身に付けさせる。

(2) 学校運営

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務、財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に対する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

【取り組みと課題および改善方策】

私立学校を取り巻く環境は年々厳しくなり、修学支援新制度等の整備が行われ、これらについては学生募集の点からも正確に進めている。また都度、菅原学園として規則の見直しを行い、職員からの意見聴取も行っている。また社会情勢に合わせた危機管理等のマニュアルを随時更新している。

今後は地域連携にも目を向け、地域の各団体・施設等との共同事業を行い、学生教育に反映させる。

(3) 教育活動

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修行年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関連施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4

関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

【取り組みと課題および改善方策】

各学科は厚生労働省の養成所指定規則に則り、体系的なカリキュラムを展開している。また実習施設との連携をはかり、学生の実習が円滑に行われるよう協力体制を構築している。

教員の研修は、専任教員としての必要となる研修を受講し、各自が意識向上と自己研鑽に努められるように体制を整えている。さらに厚生労働大臣指定養成校の教員要件でなく、短大の講師要件を満たす研究業績のある教員を確保した。

今後は授業評価を各科統一した様式とし、全教員の授業評価を早期に実施する。

（４）学習成果

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

【取り組みと課題および改善方策】

令和6年度も卒業生全員が国家資格を取得し専門分野に就職した。

評価で低い退学率の低減は前年度と比較すると改善したが、目標とする5%は達成できなかった。

今後は少子化・学生数減少という厳しい現実問題があるが、医療職として活躍できる学生を輩出するため、さらに学生個人の問題解決に早期に取り組み、基礎学力向上を補習等で支援する。

（５）学生支援

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4

学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

【取り組みと課題および改善方策】

同窓会発足準備のため、初めて卒業生に学校名変更と現在の学校の様子を発信し、卒業生の現在の連絡先を任意に収集した。連絡が取れない卒業生もいたので、今後は HP 上にも同窓会準備の情報を載せ、同窓会発足に向けて卒業生が一堂に集える会を催し、活動を活発なものとしていきたい。

就職率は今年度も 100%を達成したが、求人表の閲覧については、紙媒体から電子媒体への移行も視野に入れて、学園全体の問題としてシステム構築を要望したい。

(6) 教育環境

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災に対する体制は整備されているか	4

【取り組みと課題および改善方策】

より効果的な演習授業のためパソコン実習室の PC を入れ替えた。しかし校内のインターネットの回線整備が不十分であり、教科書記載の QR コードが読み取れないケースがあり、学習環境としては不十分となっている。この点は早期に環境を整えられるよう着手したい。

臨床実習施設との連携は十分構築されているが、海外研修は実現できていない。この点はカリキュラムの内容、経費、感染症の問題などがあり、慎重を期している。

防災体制は校内の危機管理委員会が主となり、避難訓練、付帯設備・器材の転倒防止確認、仙台市のシェイクアウト訓練に参加している。また学生には住居地の指定避難所の把握、震度 5 以上の場合の安全確認を行うことを周知している。

(7) 学生募集

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

【取り組みと課題および改善方策】

菅原学園本部企画広報室が主となり、校内の入学相談課の担当職員を中心に学生募集を行っている。進学者者を講師に迎え職員研修を行い、オープンキャンパスの内容改善に役立てている。また国家試験合格率や就職率・就職先を各媒体に掲載し、周知している。

(8) 財務

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適当に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

【取り組みと課題および改善方策】

社会一般に物価高騰が続く中、各家庭における経済状況も厳しくなる中、学費の値上げも検討したが、令和6年度は見送った。会計監査および情報公開は滞りなく適正に行っている。

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

【取り組みと課題および改善方策】

法令上必要な規則やマニュアルは学校法人菅原学園として常に改正、意見の聴取を行い、コンプライアンスを意識して教育活動を行っている。
自己評価も HP に公開している。

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

【取り組みと課題および改善方策】

委託事業への協力・参加を求められ理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歯科衛生士の教育分野として一般市民を対象とした企画に協力した。また近隣の大学や病院と連携し、今後は共同で企画

を実施する予定である。

学生のボランティア活動は、感染対策の点から臨床実習との兼ね合いもあり、積極的には取り組めていない状況である。

今後とも教育資源を活用し、地域貢献・社会貢献に尽力していく。